

## 財政収支(1月)

(1) 1月の歳入は前年同期比48.6%増、税収は同53.3%増。歳出は前年同期比37.6%増。  
 (2) 結果として1月の財政収支は1,392.59億リラの赤字(前年同期比7.6%増)、プライマリーバランスは237.59億リラの赤字(同180.2%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1月(A)	2025年1月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	6,172.49	9,170.83	48.6%
税収	5,172.01	7,926.67	53.3%
所得税	1,028.37	1,973.57	91.9%
法人税	101.07	79.94	▲20.9%
付加価値税(国内及び輸入)	1,995.52	2,788.81	39.8%
特別消費税	977.07	1,350.59	38.2%
その他税収	1,069.98	1,733.76	62.0%
税外収入等	1,000.48	1,244.16	24.4%
歳出(b)	7,679.68	10,563.42	37.6%
人件費	2,602.50	3,591.53	38.0%
物品及びサービスの購入	270.56	463.41	71.3%
経常移転	2,846.56	4,042.02	42.0%
資本支出	180.57	282.50	56.4%
支払利子(c)	1,210.93	1,630.18	34.6%
その他歳出	568.56	553.78	▲2.6%
財政収支(a-b)	▲1,507.19	▲1,392.59	7.6%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲296.26	237.59	180.2%

## 経常収支(2024年1-12月)

(1) 1-12月の経常収支は、99.73億ドルの赤字(前年同期は398.77億ドルの赤字)。  
 (2) 1-12月の貿易収支(物品)は562.58億ドルの赤字で前年同期から赤字幅減少、旅行収支は489.53億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

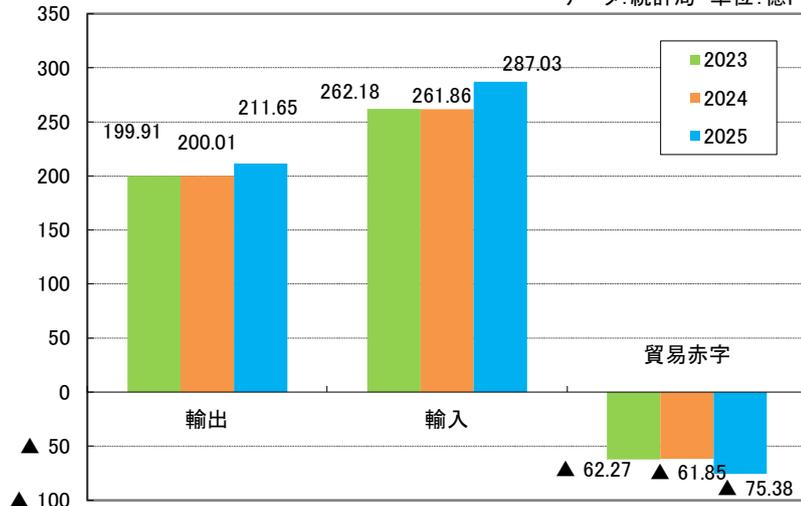
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2023年1-12月(A)	2024年1-12月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲398.77	▲99.73	75.0%
貿易収支(物品)	▲862.80	▲562.58	34.8%
サービス収支	572.66	619.92	8.3%
旅行収支	421.57	489.53	16.1%
第1次所得収支	▲114.20	▲157.79	▲38.2%
第2次所得収支	5.57	0.72	▲87.1%
労働者送金	1.95	1.06	▲45.6%
資本移転等収支	▲2.04	▲1.26	38.2%
金融収支	▲514.06	▲227.95	55.7%
直接投資	▲46.94	▲46.61	0.7%
証券投資	▲56.52	▲116.80	▲106.7%
その他投資	▲390.33	▲69.47	82.2%
外貨準備	▲20.27	4.93	124.3%
誤差脱漏	▲113.25	▲126.96	▲12.1%

## 貿易収支(1月)

(1) 1月の輸出額は211.65億ドル(前年同期比5.8%増)、輸入額は287.03億ドル(同9.6%増)となり、この結果、貿易収支は75.38億ドルの赤字(同21.9%赤字幅拡大)となった。  
 (2) 1月の輸出額におけるEU向けの割合は42.1%(前年同月は41.8%)、輸入額におけるEUからの割合は26.2%(前年同月は29.9%)となっている。

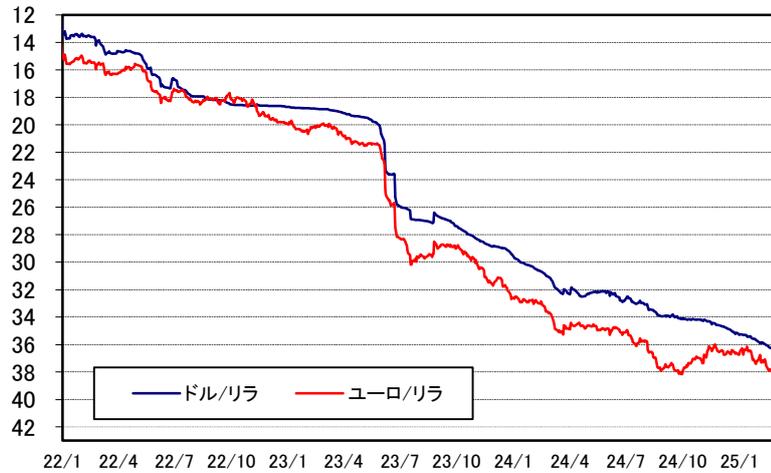
データ:統計局 単位:億ドル



## 為替(2月)

引き続き緩和的な金融政策が継続し、リラは対ドル及び対ユーロで共にやや減価した。月末時点では1ドル=36.37リラ(前月末比1.68%安)、1ユーロ=38.10リラ(同2.58%安)となった。

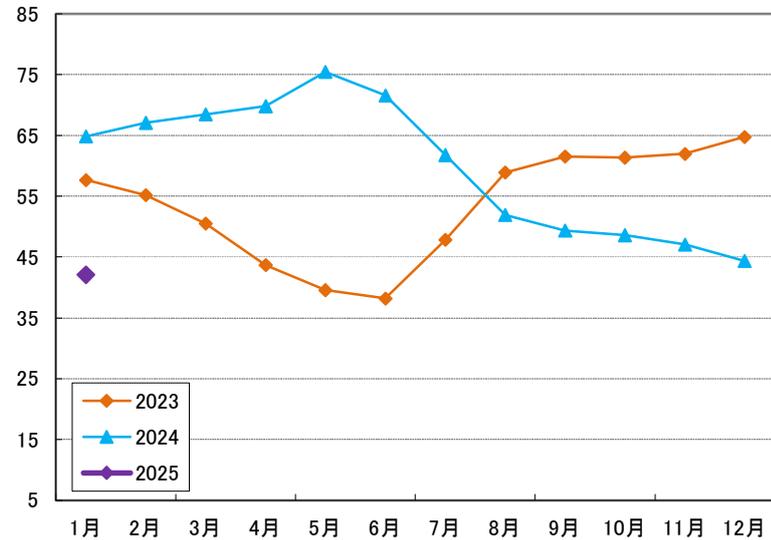
データ:中央銀行 単位:リラ



## 消費者物価上昇率(1月)

- (1)1月の消費者物価は前年同月比42.12%増、前月比5.03%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比では教育が99.93%となり最も上昇した。前月比ではヘルスケアが23.57%となり最も上昇した。
- (3)国内生産者物価指数(1月)は前年同月比27.20%増、前月比3.06%増となった。

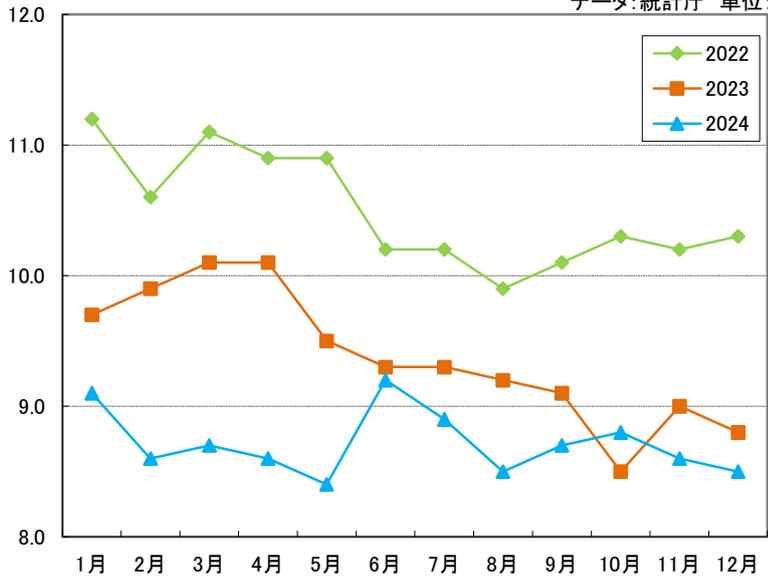
データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



## 失業率(2024年12月)

- (1)12月の失業率(季節調整後)は8.5%となり、前月から0.1ポイント低下。
- (2)労働力人口は3,574.3万人、就労者数は3,271.8万人、失業者数は302.6万人。
- (3)男性の失業率は6.9%、女性は11.4%。若年層(15-24歳)の失業率は16.3%となっている。

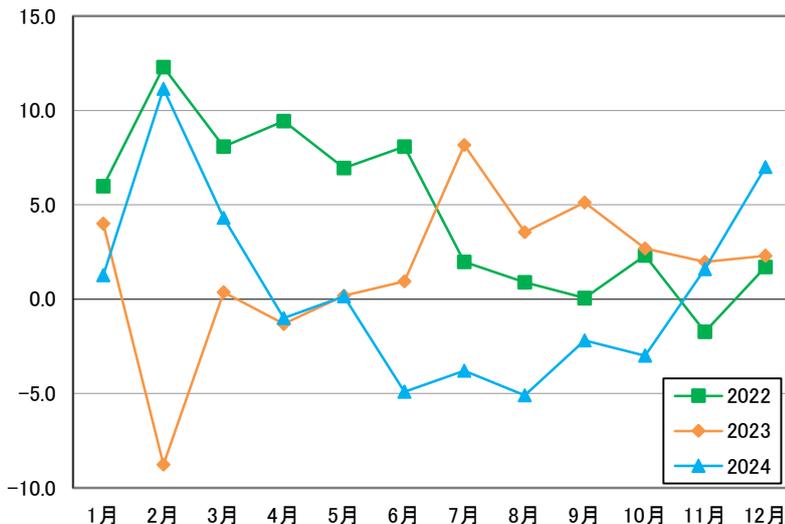
データ:統計庁 単位:%



## 鉱工業生産 (2024年12月)

(1) 12月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)7.0%増。  
 (2) 分野別では、耐久消費財が前年同月比1.1%増、資本財が同20.0%増、中間財が同0.4%増となった。

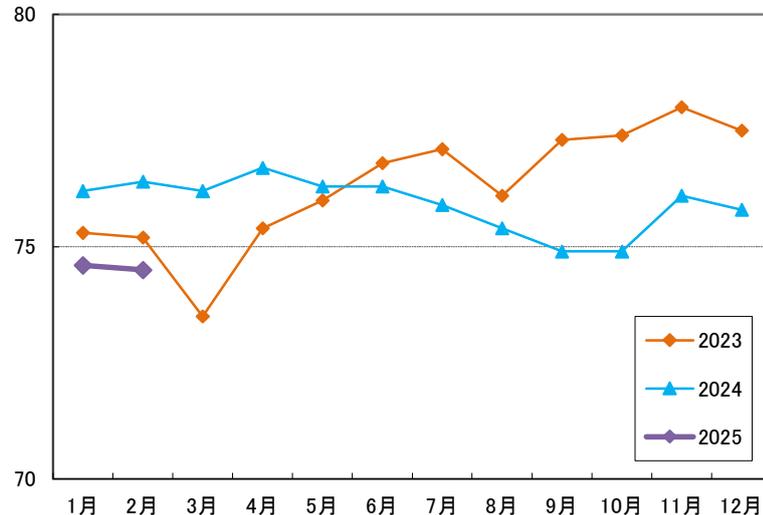
データ: 中央銀行 単位: 前年同月比(%)



## 設備稼働率 (2月)

(1) 2月の設備稼働率は74.5%となり、前年同月から1.9ポイント低下。前月から0.1ポイント低下。  
 (2) 製造業の分野別では、紙・紙加工品製造業(84.2%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(60.8%)が最も低い稼働率であった。

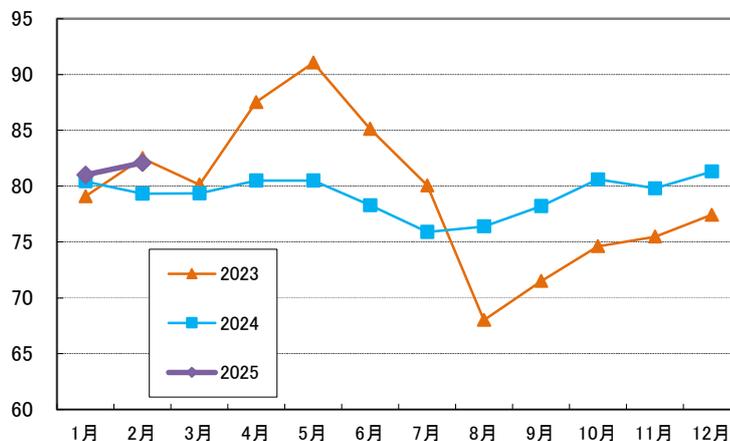
データ: 中央銀行 単位: %



## 消費者信頼感指数 (2月)

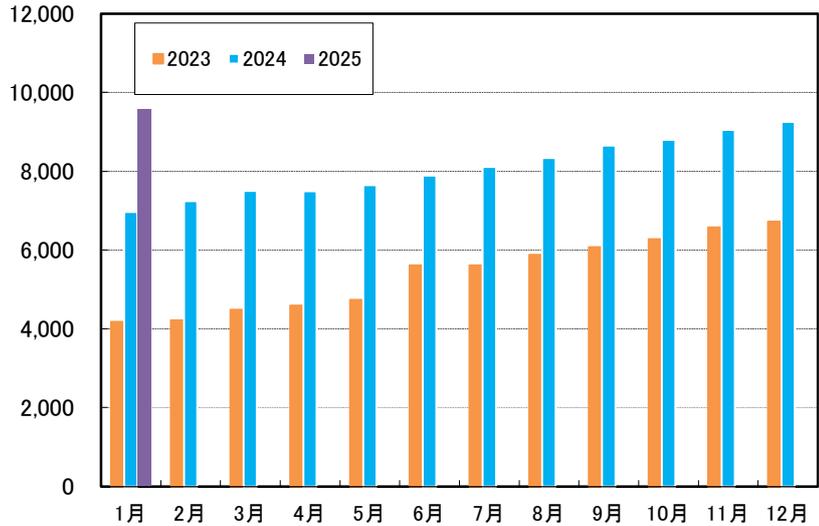
(1) 2月の消費者信頼感指数(季節調整値)は82.1ポイントとなり、前月から1.1ポイント上昇。  
 (2) 内訳では、「現在の家計の財政状況」、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。

データ: 統計庁 単位: ポイント



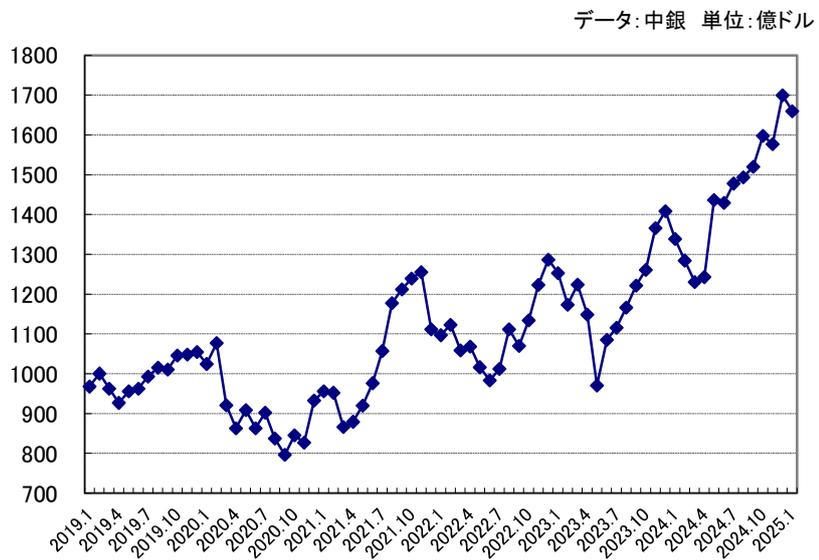
## 中央政府債務残高(1月)

(1)1月末時点での中央政府債務残高は9兆5,793億リラとなり、前年同月比37.5%増、前月比3.6%増となった。  
(2)また、国内債務比率は54.5%、自国通貨債務比率は44.6%(2024年末は43.9%)となっている。  
(3)なお、債務残高のうち円は0.5%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



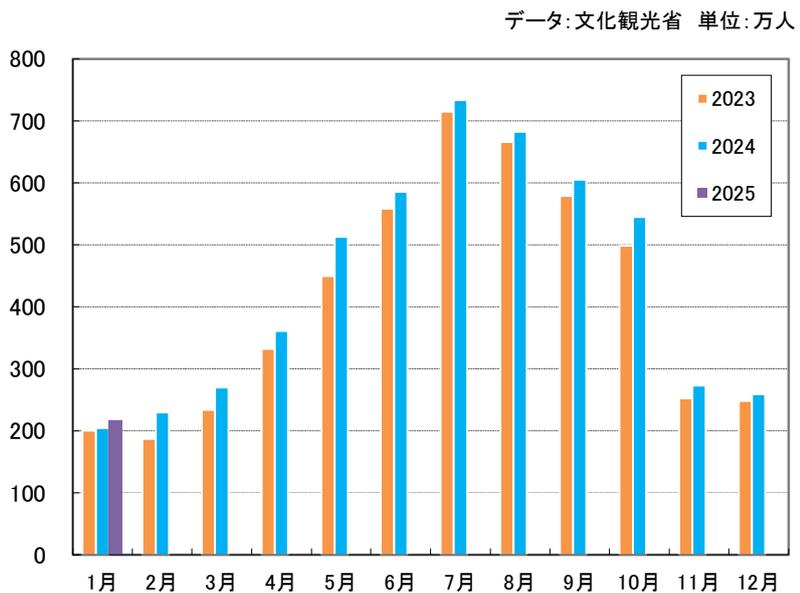
## 外貨準備高(1月)

(1)1月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,659.74億ドルとなった。  
(2)前月から40.21億ドル減少した。



## 外国人訪問者数(1月)

(1)1月の外国人訪問者数は2,171,118人で、前年同月比6.06%増。日本は7,585人であった(前年同月は6,271人)。  
(2)国別ではイランが最も多く、240,643人で全体の11.08%を占め、以下、ロシア(203,733人)、ブルガリア(165,792人)となっている。

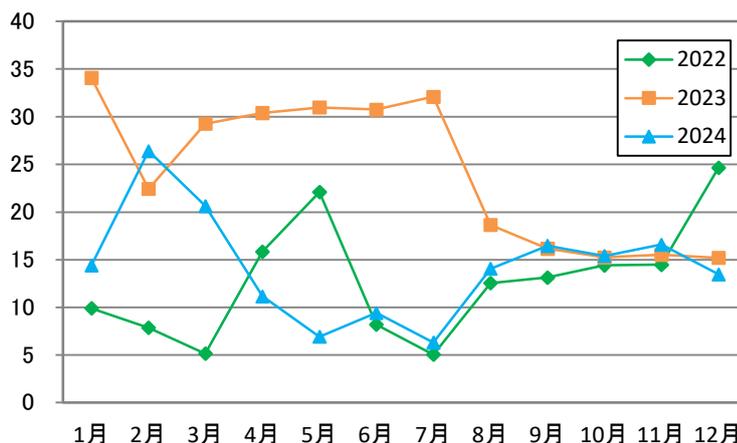


## 小売売上高(2024年12月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)12月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.5%増、前月比(季節及び日数調整後)0.4%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比12.7%増、情報・通信機器が同32.8%増となった。

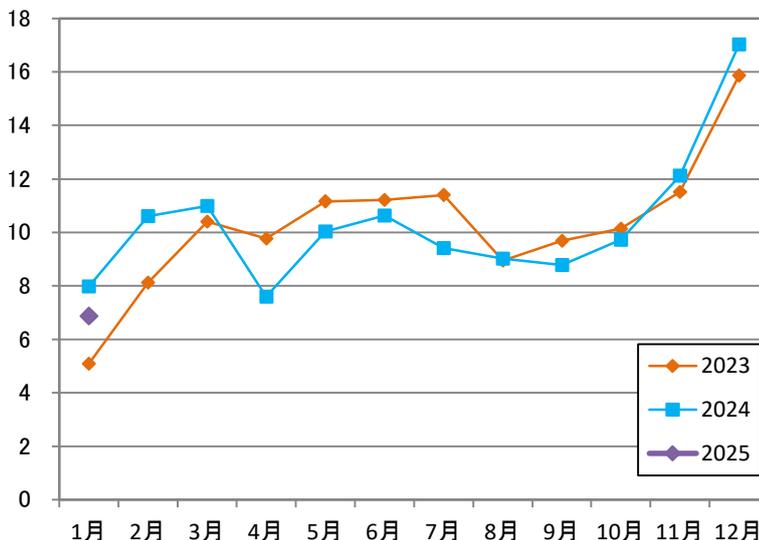


## 新車販売台数(1月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)1月の新車販売台数は68,654台で前年同月比13.9%減。

(2)1月の内訳は乗用車が55,944台(前年同月比12.6%減)、小型商用車が12,710台(同18.8%減)となった。



## 住宅販売戸数(1月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)1月の住宅販売戸数は112,173戸で前年同月比39.7%増となった。

(2)1月は新築が32,785戸(前年同月比29.8%増)、中古が79,388戸(同44.2%増)。

(3)1月の住宅ローンでの購入は16,726戸(前年同月比182.8%増)、その他が95,447戸(同28.3%増)。

